

会議名：令和4年度 矢吹町学校規模適正化検討委員会 第2回幼稚園専門部会

日時：令和5年1月13日（金）18:15～19:55

場所：矢吹町役場 2階 大会議室

参加者：委員15名（会長、副会長含む）

【以下、議事要旨】

（1）第1回専門部会での要望等について

事務局 資料1、2、4に基づき説明（以後省略）
会長 本件についてご意見はありますか。
委員 なし。

（2）ワークショップの結果について

会長 事務局、説明をお願いします。
事務局 資料3に基づき説明
会長 質問等ありますか。
委員 参加者13名はどのように募集したか。
事務局 幼稚園・保育園等・小学校に協力を依頼してのチラシ配付や、各園の先生を通じたお声がけにより募集を行った。
委員 P3「幼稚園と保育園との差をなくしてほしいとの意見がありました」との記載があるが、具体的にどのような差をなくしてほしいという意見が出たのか。
事務局 幼稚園は保育園と比較して保育時間が短いという差をなくしてほしいという意見であった。しかし、幼稚園では預かり保育の制度があるため、その点については補足させていただいた。
会長 その他意見等ありますか。
委員 なし。

（3）答申（案）に係る協議について

会長 事務局、説明をお願いします。
事務局 資料4に基づき説明
答申案について、グループワーク形式で議論いただくことを提案
会長 質問等ありますか。
委員 なし。

- 会長
会長
委員
委員
委員
委員
会長
- グループワークで議論ください。
- 「1. 今後の幼児教育にふさわしい環境について」についてご意見をいただけますか。
- ・幼稚園だけでなく小学校についても平行して統合を検討する必要があるのではないか。そうすることで住民の不安払拭につながると思う。
 - ・ワークショップ意見からも、各幼稚園で先生一人当たりが担当する園児の人数に差が出ており不平等な状況となっているように思われる。
- ・少人数では運動会や発表会の開催が懸念されるというデメリットがあるものの園児一人ひとりに目が行き届くという利点があり、大人数ではその逆となるなど、人数規模については重要だが難しい問題と考えている。
 - ・幼稚園が統合することとなった場合に、小学校では再び離れ離れになってしまうのは子どもの関係性に不安を与えることになるので、望ましくないと思われる。
- ・幼稚園だけでなく小学校についても平行して統合を検討することが保護者の不安解消につながるのではないかと。ただし、地域の幼稚園がなくなることは地域住民にとって不安であるため、保育園の設置等を検討してはどうか。
 - ・子ども達の不安をなくすことが一番であるため、ワークショップでも意見が出ていたように、幼稚園と保育園の差がなくなるような組織にしてほしい。
- ・答申案の構成としては、(1)(2)を踏まえて(3)の結論となるため、(1)については幼児教育にふさわしい環境について記載すべきであると考え。すなわち、幼稚園の統合に合わせた小学校の統合や職員配置といった話は(3)に記載すべきであると考え。ただし、幼保小の連携という観点からも幼稚園と平行した小学校統合の検討は必要と考える。
 - ・(1)に記載する具体的な内容としては、人的環境(子ども同士の関係性、子どもと先生の関係性、また保護者も含めた関係性等)と物的環境(学級規模、園舎の老朽化等)を記載するべきであると考え。
- ・(1)には幼児教育にふさわしい環境、すなわち町の教育大綱の理念、不平等な状態の解消、統合が必要となる背景、人的環境・物的環境の現状と理想等について記載することが考えられる。
 - ・幼稚園の統合と平行した小学校の統合については(3)で記載し、適正な学級規模については(2)に記載することとしたい。

・(1) に関してその他意見等ありますか。

委員 環境については、幼稚園を統合するのであれば、どこにでもある幼稚園ではなく、他自治体から羨まれるような特色と魅力のある幼稚園にすれば、保護者も前向きにとらえてくれるのではないか。そのためにも、統合に先立ち現在の各園における保護者の要望の調査をしてほしい。

会長 物的環境の部分で、その意見も(1)に記載すべきと考える。

委員 また、その意見は(4)にもつながると思われる。

会長 その他意見等ありますか。

委員 なし。

会長 続いて「2. 適正な幼稚園規模について」についてご意見をいただけますか。

委員 3～5歳児それぞれの学級でどのような人数規模とすることが望ましいか、また、園児の集団何人につき何人の先生を配置することが望ましいか。現在の基準(保育所)では4～5歳児であれば30人学級、3歳児であれば20人学級が上限となっており、これに対し少なくとも1名の先生がつくこととなっているが、先進国では15人学級が上限となっている国もみられる。また住民アンケートからも一定程度少人数学級を望む意見が見られているため、統合したとしても教職員の配慮が行き届くような園児数の学級とすることが望ましいのではないかと考えられる。

会長 魅力ある幼稚園づくりという点からも、運動会等のイベントはできるような学級の人数については配慮しつつ、少人数学級の良さを取り込めればよいと考える。

委員 自分の子どもが通っている幼稚園では、年中では園児が20人いるものの、年少では園児が7人しかいない。少人数すぎるのも問題であるため、1学級あたりの園児数は11～20人程度は確保することが望ましいと考える。

会長 その他意見等ありますか。

委員 なし。

会長 続いて「3. 将来を見据えた適正な施設配置について」についてご意見をいただけますか。

委員 統合を考えるのであれば、具体的にどの園とどの園が統合するのか、場所はどこになるのか(通園距離がどう変わるのか)といった点について保護者の関心が高いと思われる。

会長 保護者の立場としては、送迎バスでの通園時間はどの程度であれば許容できると思われるか。

- 委員 町内各地区を回るため、乗車距離より乗車時間が重要となる。バスを何台走らせるかも検討の必要がある。また、町としては新幼稚園の建設予定地をどのように考えているのかが知りたい。
- 会長 場所に関しても委員会で要望等を挙げていただければと考えている。
- 委員 現在、中畑幼稚園では駐車スペースがひっ迫しているためイベントの際には支障が出ている。新幼稚園では十分な駐車スペースを確保してほしい。
- 委員
- ・送迎バスの検討にあたっては、園児の負担を考慮して乗車時間が長くなりすぎないようにしていただきたい。
 - ・幼稚園を統合することとなった場合、新幼稚園の望ましい場所については、どの園とどの園を統合するのかによって変わるのではないかと考えられる。仮に中畑幼稚園と三神幼稚園だけを統合することとなった場合には、中畑と三神の中間地点で検討するのか、もしくはどちらかの地区に持っていくのかについての検討になる。
- 園児数で考えると、矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園を統合すると、中央幼稚園とのバランスはとれるのではないかと考えられる。その場合は矢吹の中心に近い矢吹中学校の近くなど、そこには町の所有地もあるのでそのような場所の検討になるのではないかと考えられる。
- ・また、仮に一部の園を統合したとして、園舎を新しくすることとなった場合に、統合しなかった園の保護者から、新しい園舎の幼稚園に行きたいというような声が出ることも想定されるので、そこに対しどのように説明していくかも今後重要になってくると考えられる。
- 会長 どの園とどの園を統合するかが決まらなると具体的な新幼稚園の場所の話ができないというのはおっしゃるとおりであるが、それはこの答申を取りまとめた後に検討していく。
- 委員
- ・（３）は（１）（２）を踏まえた結論部分となる。
 - ・先に幼稚園の統合についての答申が出され、その後に小学校の答申が出されるという点に触れる必要がある。幼稚園だけでなく小学校とセットで統合を考えていく必要があるという点を明記すべきである。
 - ・30年後を見据えて検討を進めるなど、広い視野で検討を行う必要がある。
- 会長
- ・統合に向けて検討を進める必要があるということを結論としたい。
 - ・園の適正配置については30年後など将来を見据えた上での検討、長時間の通園による園児の負担増や新幼稚園の用地確保への対応、小学校の統合と平行した検討が必要であるといった点も記載することとする。

る。

・どの園とどの園を統合するかといった点については継続して検討したい。

会長 続いて「4. 子育て世代人口増加のための町の望ましい取組について」についてご意見をいただけますか。

委員 ・町で実施している子育て支援施策のうち保護者に知られていない施策があるのではないかと。積極的な情報発信を行っていただきたい。

・過去、未就学児の子育て教室が実施されており好評だったと聞いているため、再開してはどうか。

委員 ・園児数の半分程度の台数が駐車できるような駐車スペースが必要である。

・第2期矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略における合計特殊出生率の目標値が2.1を達成したとしても、子どもを産み育てる世代の人口が減少している以上、自然増は困難である。したがって、社会増を目指した取組を行っていくことが重要と考える。

会長 ・子育て支援策の拡充等により他自治体からの子育て世代の流入を期待する、子育て支援策に関する保護者への積極的な情報発信を行う必要がある、新しい園舎は特色のある魅力的なものにする、統合に否定的な意見も存在する、ということをご答申案に記載したい。

・今回、委員の皆様にごいただいたご意見を軸にご答申案の文言を具体化し、次回専門部会で協議を行うこととする。

・その他意見等ありますか。

委員 なし。

(4) 今後のスケジュールについて

会長 事務局、説明をお願いします。

事務局 資料5に基づき説明

次回の第3回専門部会は2/1(水)18:15開始とする。会場はこれまでと異なり、矢吹町複合施設KOKOTTOで開催する。

会長 次回は具体化した答申案について議論させていただく。

質問等ありますか。

委員 なし。

会長 それでは以上で本日の協議は終了します。

以上